

## 講師紹介 鈴谷 瑞樹 氏

特定非営利活動法人 AIP (福岡県福岡市博多区)

[法人概要・沿革 - 特定非営利活動法人 AIP](#)

デジタル自助具制作研修プログラム - 特定非営利活動法人 AIP ホームページ参考

### デジタル自助具制作指導者 初心者コースの内容紹介

**目標 3D プリンターをすぐに使えるようになること**

できること 3D プリンターの使い方を一から学び、簡単な自助具を  
3D プリンターで出力できるようになります。

- パソコンやタブレットが使える人なら誰でもできます。
- 特別な知識がなくても、基本操作を覚えるだけですぐに作り始められます。

具体的な内容

- 3D プリンターの仕組みと基本的な操作方法
- ダウンロードしたファイルの出力方法
- 初心者向けのお手軽モデリング(シンプルな形状をデザイン)
- 出力時の注意点や材料の選び方

実習&演習

- 実際に 3D プリンターで出力して試作を体験
- 簡単な道具(例: ストローホルダーなど)のモデリング制作

期待される成果

- 3D プリンターの基本操作を習得し、自分で試作を行えるようになる
- 簡単なモデリングから出力までの流れを理解する

### 福祉・介護分野での DX 推進自助具の分野にも介護テクノロジー

各地で、実際に介護施設に 3D プリンタを持ち込み、使い勝手や効果を検証する取り組みを行ったり、単なる技術提供だけでなく、現場全体のデジタル化支援の必要性を強く感じるようになりました。これにより、現場の負担を軽減し、効率的な業務運営を実現するためのあたらしいステップになる研修会になる事を願っています。

(企画担当)愛媛県福祉サービス協会 会長 鳥生 明(トリユウ アキラ)

### これまでの 自助具の紹介・体験活動

えひめ福祉用具フェアの実施の中で 自助具を展示 作製の体験コーナーを行い  
スプーンホルダーの製作体験を多くの方に参加いただきました

素材が安く 簡単にできる事により、自助具をつくる力を身につけ、  
一人ひとりに寄り添う道具づくりで 自立支援につながる 活動として取り組んできました



令和7年2月11日 「ユニコム」オープニングのイベントでは、  
作業療法士のブースでユニバーサルテープ  
(シリコン製 DIY テープ)を使った  
自助具づくりの体験を行いました  
今回の展示場にも 展示をしています

<https://nissili.co.jp/all/pickup/pu-silicone/9006/>

壊れてしまった小物の修繕、皿やコップ・スプーンの滑り止め、自助具や福祉・介護用具など…  
アイデア次第で幅広い用途にお使いいただけます。



今後 自助具展示コーナーを より多くの方に利用していただく事  
他県の展示場の取り組みも(愛知の見学にも行った)参考にして  
どのように運営していくかを 皆さんと一緒に考えていく必要があると思います

## 今回の研修会の内容は……その狙いは！

9:30~10:00 受付

10:00~10:30 自助具の役割と自立支援 講義

講師の活動紹介 自助具などによる自立支援の活動をご紹介いただく

10:30~12:00 展示場の食事用自助具の紹介と体験

展示場の商品の紹介 参加者に見ていただく時間です

13:00~15:30 一人ひとりに寄り添う道具自助具作成づくりワークショップ

デジタル自助具制作指導者 初心者育成コースとして

3D プリンターの使用体験を通して 全国の取り組みなども紹介して

あたらしい福祉・介護分野での DX 推進を確認すること

自助具の分野にも介護テクノロジーの取り組みが進んでいることを紹介していきたい

15:30~16:00 質疑応答 (自助具作成への活動支援 座談会 )

全国につながる……取り組みとなるか 情報交換をしましょう

### 紹介 1. 一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会の紹介

<https://www.ictrehab.com/>

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 が TBS news23 にて紹介されました  
2024 年 10 月 26 日に行われた「3D プリント自助具デザインコンテスト 2024」に  
TBS のカメラが入り、3D プリンターで自助具を作成する活動が当事者による製作とい  
う視点で紹介されました。

YouTube で配信されていますので、ぜひご覧になってください。

<https://www.ictrehab.com/news/764/>

令和6年度の「STI for SDGs」アワードの受賞 科学技術振興機構理事長賞

団体名 一般社団法人ICTリハビリテーション研究会、ファブラボ品川

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 関連情報

<https://www.ictrehab.com/misc/688/>

第 19 回鳥取県作業療法学会 スピンオフ企画として 3D プリント・ワークショップを開催しました (2023.12.10)

<https://www.ictrehab.com/news/627/>

## 自助具講習会 紹介2

### 介護現場の自助具をデジタル化へ

#### ケア共創ネットワークの3Dプリンタ活用への挑戦

地域 DX 共創事業「DX LAB KTQ」における共創事例をご紹介します

私たちは4つの重要な検証を進めています。

1. 介護従事者に教育を行うことで、自助具のデジタル化が可能になるか。
2. デジタル化した自助具を3Dプリントで実際に製作できるか。
3. 教育を受けた介護従事者が他の職員に知識を伝達できるか。
4. 他者が作った自助具のデータを活用できるか。

これらの検証により、現場のデジタル化をさらに進めることを目指しています。

### 公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)では

令和6年度より地域 DX 共創事業「DX LAB KTQ」を開始しました。

この取り組みは、北九州地域全体のデジタル化・DX推進のために共創活動に取り組む主体者の発掘から、関係性の構築を目的とした場の提供、共創活動団体の取り組み紹介、課題整理支援や課題解決に向けたソリューション提供企業(IT企業やスタートアップ等)とのマッチング、解決策の共同構築・検証のコーディネートなどを実施します。

この事業を通じ、周囲からの後押しやサポートの輪を広げ、地域内の企業がよりデジタル化・DXに取り組みやすい環境を構築し、北九州地域全体のDXを推進していきます。

これまでの活動については北九州市DX推進プラットフォーム内特設ページをご覧ください

<https://ktq-dx-platform.my.site.com/DXmain/s/meetup/dx-lab-ktq>

[【DX LAB KTQ】介護現場の自助具をデジタル化へーケア共創ネットワークの3Dプリンタ活用への挑戦 - 北九州市 ロボット・DX 推進センター](#)

## 紹介3 「ファブラボ品川」

昨今は3Dプリンターの普及によって、個人が作りたいものを自由にモデリングし、すぐに形にできるようになってきました。

そして最新のものづくりは趣味の領域にとどまらず、医療福祉分野でも運用され始めています。たとえば、東京・中延のファブスペース「ファブラボ品川」。こちらでは、3Dプリンターを使った作業療法の実践的な取り組みが行われています。

ファブラボ品川では、医療福祉に関する勉強会や、実際に3Dプリンターでモノを作るワークショップを定期的で開催しています。「セラピスト向け3D自助具製作ワークショップ」

自助具とは、障がいを持つ人が日常で行うのが困難な動作を、自分自身で容易に行えるよう工夫を凝らした補助具のこと。リストアップした自助具のサンプルから作りたいものを選択し、ソリッドモデリングツール「TINKERCAD」で制作を進めていきましょう。

写真は「プルトップオープナー」と「箸の自助具」を仕上げることにしました。

サンプルを実際に触り、改善点やアレンジを加えながら自分オリジナルのデータを構築していきます。形を分解しながら作れるので迷うことなく作業することができました。

この道具を使えば、手が満足に動かせない方でも、少ない力で簡単に缶のプルタブを起すことができます。

こうした生活に寄りそう道具が、こんなに簡単できずに作れてしまうとは……。



<https://jp.meviy.misumi-ec.com/info/ja/blog/6886/>

3Dプリンターで自助具を製作！ デジタルファブリケーションを作業療法に応用した「ファブラボ品川」

## 紹介4

### 3D プリンターで自助具をつくる共創プラットフォーム

#### 「COCRE HUB | コクリハブ」をご紹介します

COCRE HUB | コクリハブは 2023 年秋、3D プリンターで自助具をつくる方々の共創プラットフォームとして一般社団法人 ICT リハビリテーション研究会を中心にローンチされました。同法人はかねてからファブラボ品川と協調してケアやリハビリテーションの分野でのデジタルファブリケーション技術活用の普及を目指しており、令和 6 年度の STI for SDGs 科学技術振興機構理事長賞は連名で受賞しています。※「ローンチ」とは、「特に IT 業界において新規のアプリケーション・ウェブサイト・ウェブサービスなどを発表・公開すること」

現在ファブラボ品川のプラットフォームで公開している自助具 3D モデルの数々も順次 COCRE HUB | コクリハブへの移行を進めています。

3D プリント自助具デザインコンテスト 2024 も 開催されています

[3D プリンターで自助具をつくる共創プラットフォーム「COCRE HUB | コクリハブ」をご紹介します - | ファブラボ品川 - FabLab Shinagawa](#)

#### ご参考に

3D プリンターはオススメの機種を以下のブログ記事にまとめています。

参考にしてください。 講師鈴谷 瑞樹 氏の推薦紹介です

<https://npo-aip.or.jp/137a900e6f148056ae6ec07b613c9f85>

自助具をつくれる方は、Bambul ab 製で、タッチパネルがついている機種を選ばれることが多いようです。 まずは一番安い A1 mini がオススメかと思います。

Bambu Lab A1 mini 3D プリンター 商品番号: PF002-M-JP

¥31,680 円 税込価格～紹介されています

#### 特徴

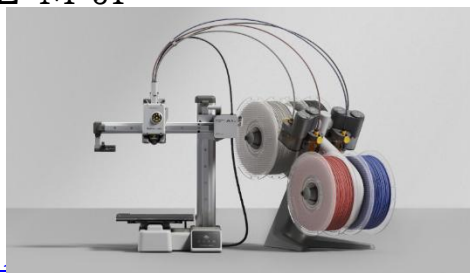
- 全自動キャリブレーション
- AMS lite 併用で 4 色までマルチカラー印刷が可能
- 静音造形(サイレントモードで ≤48 dB)
- 全金属レールシステム
- 自動流量補正キャリブレーション

[Bambu Lab A1 mini 3D プリンター | Bambu Lab](#)

バンブーラボ A1 ミニ

3D プリンティングへのカラフルなゲートウェイ

進化した使い易さです



今回の講習会を機会に 愛媛県で そして全国へ つながる

3D プリンターで自助具をつくる共創プラットフォームができ、出来上がった製品を共有しあえる、「つながる…自助具 3D モデル」の輪になればと願っています

ぜひご参加ください。愛媛の作業療法の実践的な取り組みを期待しています。

愛媛県福祉サービス協会 会長 鳥生 明